



## 「糸賀一雄」先生のことば

教育相談員 馬籠 裕二

国は「障害者の権利に関する条約」の署名（平成19年）以降、「障害者基本法の一部を改正する法律」、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」等、障害者施策に関する法整備を進め、共生社会の実現に向けて様々な取り組みをしています。こうした法整備は、教育・福祉・労働・医療・関係機関等の分野でも障害のある人となない人が共に生きる仕組みの構築や、それに必要な環境等整備がされてきています。

戦後、昭和21年創設された「近江学園」でご苦勞された先人の先生方の愛と苦闘の記録となっている、「この子らを世の光に」の5「発達保障という考え方」を、私は20年ぶりに読み返しました。「この子らを世の光に」とは、糸賀一雄先生（近江学園初代園長）のことばです。「著書の題名」でもあります。戦後、間もなく滋賀県の大津市（現在は湖南市に移転）に創設された近江学園は、二人の偉大な教育実践家と尊敬されている池田太郎先生（後に信楽学園長）や田村一二先生（後に一麦寮長）をはじめ、極めて魅力的な人たちがたくさん職員として集まり創設されました。近江学園の実践は、後に戦後日本の特殊教育（現在は特別支援教育）の基本に流れることになりました。当時は、子どもたちを社会の一員として、更には一人の人間として認め扱わない国や社会や家庭の無理解・冷淡そして不当な圧迫との戦いだったそうです。

それでも理想の実現に向けて情熱をささげることが出来たのは、『近江学園が「人」をつくり、また「人」につくられた学園であった』と、糸賀一雄先生は記しています。このことは、子どもたちへの深い愛情と共感でかたく結ばれた学園であったということだと思います。糸賀一雄先生が「この子らに世の光を」と言わず、「この子らを世の光に」と昭和20年代の当時、厳しい時代に述べられたことは、すべての子どもたちに権利として「発達の保障」を強く訴え、社会を変えたい。そして、「人権尊重」の精神が育つ社会の実現を願っていたのだと思います。

私は現役時代、生徒たちが特別支援学校の高等部を卒業する時、社会の荒波に出る卒業生を心配せずにはいられませんでした。当時、地域社会の福祉等の更なる充実を願い、地域で生涯にわたり豊かに生活ができるようにと、私たちは条件整備にも力を入れました。しかし、そのことは「この子らを世の光と」お願いするだけでなく、この子らが主体的に自信をもって、地域で生きる権利があることを堂々と主張することができる社会の実現です。私たちは生徒たちから多くのことを学びました。彼らは「世の光」です。逆に感謝の気持ちでいっぱいです。地域の中で共に生きることは、お互いに人間として大切なものをいつも分かち合うことです。卒業生が、「世の光」になって、地域で自信をもって明るく元気に、地域で共に生きていくことを願ってやみません。

これからは多様性の時代ともいわれています。糸賀一雄先生の「この子らを世の光に」を学び、一人一人の違いを認め、個性、能力が尊重された、共に生きる社会の実現に向けて、一人一人が地域や関係機関等と連携して、できることから共に取り組んでいくことが求められています。



# 12月 ピッコロだより



【12月の活動】<sup>とも</sup>友だちに<sup>きょうみ</sup>興味を持つ/<sup>たが</sup>お互いの<sup>きょうつうてん</sup>共通点を見つける

月	火	水	木	金	土
	1 あいて 相手のことを しろう	2 あいて 相手のことを しろう	3 あいて 相手のことを しろう	4 あいて 相手のことを しろう	5 あいて 相手のことを しろう
7 あいて 相手のことを しろう	8 うんどう 運動	9 うんどう 運動	10 うんどう 運動	11 うんどう 運動	12 うんどう 運動
14 うんどう 運動	15 きょうつうてん 共通点を みつけよう	16 きょうつうてん 共通点を みつけよう	17 きょうつうてん 共通点を みつけよう ひなんくんれん ぼうはん 避難訓練(防犯)	18 きょうつうてん 共通点を みつけよう	19 きょうつうてん 共通点を みつけよう
21 きょうつうてん 共通点を みつけよう	22 きょうつうてん 共通点を みつけよう	23 きょうつうてん 共通点を みつけよう	24 きょうつうてん 共通点を みつけよう	25 きょうつうてん 共通点を みつけよう	26 きょうつうてん 共通点を みつけよう
28 きょうつうてん 共通点を みつけよう	29 やす 休み とうききゅうか (冬季休暇)	30 やす 休み とうききゅうか (冬季休暇)	31 やす 休み とうききゅうか (冬季休暇)	※12月29日(火)～1月3日(日)まで 冬季休暇とさせていただきます。	

※公認心理師、理学療法士、言語聴覚士の来所日については、後日、玄関にて掲示とコドモンにて配信させていただきますので、ご確認下さい。専門職の来所日により、活動内容が変更になる場合があります。その際は、玄関に掲示させていただきます。

【今月の主な活動】友だちに興味を持ち、相手のことを理解する／お互いの共通点を見つける

ねらい:友だちの趣味、嗜好等を知り、興味を持つ／自分と友だちの共通点を探しながら信頼関係を築く

☆ワークシートに好きなことや苦手なこと等を記入し、お互いを理解する機会を設けます。〈相手のことを知ろう〉

☆友だちとやりとりしながら、お互いの共通点を探し、より深く信頼関係を築きます。〈共通点を見つめよう〉

## ★お知らせとお願い★

- 提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- 個別での引継ぎを希望される方は、職員へ事前にお伝えしていただけたら、日程を調整を行い、対応させていただきますので、お知らせください。
- 社会福祉法人 落穂会のホームページ(<http://www.asahigaokagakuen.jp/>)におたよりを掲載していますので、ご確認ください。実績記録表について、これまで請求書に同封していましたが、当日にご署名を頂くシステムに変更致しました。ご理解、ご協力の程、よろしくお願ひ致します。
- 登園時間は、平日 16時20分まで、土曜日(午前)10時20分まで、(午後)13時50分までにお願ひします。
- お迎えは、平日 17時20分～18時の間、土曜日(午前)11時50分～12時10分の間、(午後)15時20分～15時40分の間にお願ひ致します。また、お迎えの際は引き継ぎ 20分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。

## 【キャンセル待ちについて】

- キャンセル待ちの受け入れの連絡は、平日は当日の午前中まで、土曜日は前日までトリアより連絡をさせていただきます。連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。

## 【欠席連絡について】

- 平日は 16時以降、土曜日(午前)当日 9時30分以降、(午後)13時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代(¥60/日)をご負担頂きますので、ご了承ください。また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。

※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。

## 【11月の振り返り】

### 〈丁寧なことばを使おう〉

・自分との関係性や相手の年齢、状況に応じて、ことばの使い方が異なることを知り、丁寧語や敬語だけでなく、相手に分かりやすく伝えることの大切さを学びました。

### 〈気持ちを切り替える方法を知ろう〉

・気持ちを切り替える方法について具体的に学び、日常の中で実践できるよう、ゲームを通して実践する練習を行いました。また、学んだ方法が実践できる状況についても、友だちと話し合いながら確認しました。